

解 答	1 (A)	2 (C)	3 (A)	4 (D)	5 (B)	6 (C)
	7 (B)	8 (A)	9 (D)	10 (B)	11 (C)	12 (A)
	13 (D)	14 (A)	15 (B)	16 (C)	17 (B)	18 (A)
	19 (D)	20 (C)				

1. 「私たちの英語の先生であるシャーリーは、この9月で日本に住んで12年になります」

④時制パターン

- ▶ 選択肢に並んでいるのは動詞liveの様々な時制です。時制を決定するヒントを英文の中に探しながら読んでいくと、**未来の1時点**を表すby next September(今度の9月までに)というフレーズが目に入ります。未来のある時点までlive(住む)という状態が継続するので、未来完了形である(A)will have livedが正解になります。

2. 「映画館に行くことを好む人もいるが、自宅で映画を見るのが好きな人もいる」

⑥語法(代名詞)パターン

- ▶ 選択肢には不定代名詞のanother/other/othersを含む表現が並んでいます。まず空欄に入るべき語は主語となるので他動詞・前置詞の目的語として用いられる(B)each otherと(D)one anotherは代名詞ですが除外されます。また、other単独では代名詞として用いないので(A)otherも不可です。文頭のsomeと呼応する表現があることから(C)othersが正解です。

some ~ others ... 「~のものもあれば、…のものもある」

Some like dancing, and others don't.

(踊るのが好きな人もいるし、そうでない人もいる)

3. 「ジョンはじゅうぶんなお金を持っていなかったので、新車ではなく中古車を買った」

⑭文脈(前置詞)パターン

- ▶ 選択肢はすべて2語からなる前置詞(句)ですが、文法的にはすべて空欄に入れることが可能です。このように、選択肢すべてが文法的に適合する場合は文脈に最も相応しいものを選ぶ方針で解いていきます。
- ▶ 空欄後にあるa new oneのoneはcarを指しています。「ジョンは多くのお金を持っていない」ということを考慮すると、「新車の代わりに中古車を買った」という意味になる(A)instead ofが最適です。

instead of ~ 「~の代わりに/~ではなく/~しないで(doing)」

Instead of going to the party, Mike studied at home.

(マイクはパーティーに行かないで家で勉強をした)

in spite of ~ 「~にもかかわらず」

contrary to ~ 「~に反して」

except for ~ 「~を除けば、~以外は」

4. 「私の祖母は料理がとても上手です。私は彼女の料理を食べることをいつも楽しみにしています」

⑥語法(冠詞)パターン

- ▶ 選択肢には空欄後のa good cookを修飾する副詞(too, so, very)と形容詞(such)が並んでいます。南山大学ではsoとsuchの使い分けを問う問題がよく出題されますが、このような問題では空欄の語が修飾する語句の語順に着目します。
- ▶ 空欄後のa good cookは「a + 形容詞 + 名詞」の語順になっています。選択肢の中でこのような語順をとるのは(D)suchのみですので、これが正解になります。その他の選択肢を用いた場合の正しい語順は、(A)too good a cook, (B)so good a cook, (C)a very good cookとなります。

5. 「高校生の時、私はバドミントン部に所属していました」

④時制パターン

- ▶ 選択肢に並んでいるのは動詞belongの様々な時制です。本問で時制を決定するキ

フレーズはWhen I was ...という過去を表す副詞節です。主節の内容はこの時と同時の事を表しているため、現在完了形である(A)have belongedと、現在形である(D)belongは正解候補から除外されます。

belongは状態動詞で進行形を作りませんから(C)was belongingも除外され、正解は過去形の(B)belongedとなります。

6. 「南山大学の工事はあと2ヵ月で終わります」

⑫前置詞パターン

- ▶ 選択肢がすべて前置詞の前置詞パターンです。空欄前後に特定の前置詞と結びつく熟語やイディオムが見当たらないので、文脈に合う意味を持つ前置詞を選ぶ方針で解いていきます。
- ▶ 空欄後のanother two months(さらにもう2ヵ月)は期間を表しているため、時の経過を表す(C)in(今から～後に)が正解です。

[例] Dinner will be ready **in** five minutes.

(あと5分で夕食です)

7. 「私たちは雨が降りだす直前にカズヨシの家に着いた」

④時制パターン

- ▶ 選択肢に並んでいるのは動詞startの様々な時制です、本問で時制を決定するキーワードは時間的な前後関係を表すbefore(～する前に)です。beforeによって時間の前後関係が明らかなので、主節のarrivedと同じくbefore節内も過去形である(B)startedが正解です。

8. 「コンサートの間は必ず携帯電話の電源を切っておいてください」

②前置詞vs接続詞vs副詞パターン

- ▶ 選択肢に並んでいるのは前置詞と接続詞ですので、まずは空欄に入るべき語が何と何を繋いでいるかを判断します。
- ▶ 空欄に続くのはthe concertという名詞ですので節をつなぐ接続詞(B)whileは正解候補から除外されます。残った選択肢の中から文の意味に合うのは(A)during「(特定の期間)の間じゅう(ずっと)」と(D)through「ある(特定の)期間の始めから終わりまで」の2つですが、throughには「期間中ずっとし続ける」というニュアンスが強いため、(A)duringが最適です。

□ **make sure that**節「必ず～するように手配する/～を確かめる」

He *made sure that* the job would be properly done.

(彼はその仕事がきちんとなされるように手配した)

- ▶ **make sure**の後には**that**節のほか、**of**+名詞が続く。

You should *make sure of* the facts before you write something.

(何かを書く前には事実を確かめるべきだ)

9. 「すべての証拠は恐竜が6500万年前に絶滅したという事実を示しています」

⑫前置詞パターン

- ▶ 選択肢がすべて前置詞である前置詞パターンです。ここでのpointは自動詞で「(状況や証拠などが)示す」という意味です。

選択肢の中で(D)toが、空欄直前の動詞pointと結びつきpoint to～「～を示す」という意味になります。文意にも合うのでこれが正解です。

[例] The alibi *points to* her innocence.

(アリバイが彼女の無罪を証拠立てている)

10. 「ジェームスは月曜日のプレゼンの準備で忙しいので週末のパーティーには来ません」

①動詞の形パターン

- ▶ 選択肢を見比べると、全て動詞prepareが変化したものになっている動詞の形パターンです。このような動詞の形パターンでは空欄を含む構文をチェックして、動詞の形を決定するヒントを探す方針で解いていきます。
- ▶ 空欄前にhe is busy ()とあることから、**be busy (in) doing**「～するのに忙

しい」という慣用表現が想起されます。このことから空欄には-ing形が入ると考えられるので選択肢は(B), (D)にしぼられます。空欄直後には目的語として再帰代名詞himselfがあるので、受動態となっている(D)getting preparedは不適で、(B)preparingが正解となります。

be busy (in) doing 「～するのに忙しい」

The high school students *are busy (in) preparing* for the examination.
(高校生たちは受験の準備に忙しい)

prepare A for B 「A(人)にBの準備をさせる」

He *prepared* his family *for* the move.
(彼は家族に引っ越しの用意をさせた)

11. 「私の姉が、土曜日に私たちが忙しくなければ、夕食に招待したいと言った」

㊦ 語法(動詞)パターン

▶ 選択肢はすべて他動詞ですので文法的にはどの選択肢も空欄に入れることは可能です。しかし、空欄のうしろに着目するとfor dinnerという「前置詞＋名詞」が目に入ります。このことから「動詞＋目的語＋for＋名詞」という語法を持つ動詞を選べば良いと分かりますので、(C)askが正解となります。

ask A over for dinner 「Aをディナーに招待する」

12. 「このコートは素敵ですね。試着してみてもいいですか」

㊦ 句動詞パターン

▶ 本問の選択肢には他動詞であるということ以外に共通点が見当たりませんが、空欄後のonに着目すると(A), (C), (D)は「基本動詞＋on」という句(群)動詞を作ることに気がつきます。

(A)try on A 「[サイズが合うか] A(服など)を着てみる」、(C)get A on 「A(服など)を身につける」、(D)take on A 「A(仕事など)を引き受ける/A(性質など)を帯びる」という意味ですが、Why don't you do? (～してはどうですか?)という提案の文脈であることから(A)tryが最適です。

13. 「ティナは床に水をこぼしてしまっただが、カーペットに素早く吸収されたので誰も気がつかなかった」

㊦ 他動詞vs自動詞パターン

▶ absorb(～を吸収する)という単語の意味を知っていれば即答できる問題ですが、論理的に選択肢をしぼってみましょう。
▶ 空欄を含む節は受動態になっています。受動態を作る動詞は他動詞なので自動詞である(A)disappear(消える)と(C)vanish(消える)は正解候補から除外されます。残った(B)consume(～を消費する)と(D)absorb(～を吸収される)のうち文脈に相応しい(D)absorbedが正解となります。

14. 「電車に傘を置き忘れることは、日本ではよくある出来事だ」

㊦ 文脈(形容詞)パターン

▶ 選択肢はすべて限定用法をもつ形容詞です。文法的にはどの選択肢も空欄に入れることが可能ですので、文意に最も相応しいものを選ぶ**文脈パターン**となります。
▶ 選択肢の意味はそれぞれ(A)common「よく起こる」、(B)popular「大衆的な」、(C)general「一般的な」、(D)simple「簡単な、質素な」で、「よくある出来事」という意味になる(A)commonが最適です。

leave A on B 「A(物)をB(乗り物など)に置き忘れる」

I *left* my umbrella *on* the bus yesterday.
(昨日傘をバスに置き忘れた)

15. 「ブライアンが出張で訪れる際に、大学時代の友人たちに会う機会があるかどうかご存知ですか」

㊦ 語法(名詞)パターン

▶ 選択肢の意味は(A)「計画」、(B)「機会」、(C)「考え」、(D)「予定」で、どれを空欄に入

れても意味が通ってしまいそうです。このような場合は語法を問われている可能性を考えます。

- ▶ まずto不定詞で修飾される用法を持つのは(A)planと(B)opportunityです。残りの2つは(C)idea of meeting his old college friendsや(D)schedule for the meeting his old college friendsのようにofやforを用いて修飾します。

空欄前に定冠詞theがあることから、(B)opportunityが適当です。(A)は不定冠詞aを用いてhave a plan to doで「~することを計画している」というように使われま

16. 「合衆国において、クレジットカードの取得申請はこれまでよりも簡単です」

㊦ 語法(動詞)パターン

- ▶ 選択肢には「取得」の意味をもつ他動詞が多く並んでいます。このような場合は正しい語法を問われている可能性を考えましょう。

空欄後にto get ...と続くことから、to不定詞を目的語に取ることができる動詞を選ぶと(C)のapplyのみで、これが正解です。

- apply to do 「~することを申し込む」

He applied to go back.

(彼は帰国を申し出た)

17. 「ケンタが来月昇進しそうです。彼はずっと熱心に働いてきました」

㊦ 語法(形容詞)パターン

- ▶ 選択肢はすべて-lyという語尾をもち『可能性』を表す単語ですが、(B)likelyだけが形容詞です。

- be likely to do 「~しそうである」

She is likely to win the race. (= It is likely that she will win the race.)

(彼女はそのレースに勝ちそうだ)

18. 「リックは良いスーツを探して幾つかの店を回りましたが、どれを買うべきかまだ決心できずにいます」

㊦ 句動詞パターン

- ▶ 選択肢はすべて「基本動詞+前置詞[副詞]」の句(群)動詞です。句動詞パターンでは文脈に最も相応しい意味をもつものを選びましょう。

- make up one's mind 「決心する」(= decide/determine)

19. 「会社との長い交渉の後、トーマスはその仕事の依頼を断り、別の会社で働くことを決めた」

㊦ 他動詞vs自動詞パターン

- ▶ 直後に目的語the job offerがあるので、空欄には他動詞が入ります。自動詞である(C)disagreeを正解候補から外した残りの3つから文脈に合うものを選ぶと正解は(D)reject「~を拒絶する、断る」になります。

20. 「フランクは寝坊したが、なんとか時間通りに学校に着くことができた」

㊦ 語法(動詞)パターン

- ▶ この問題で着目すべきは空欄直後のto getというto不定詞です。このことから空欄にはto不定詞を目的語に取る他動詞が入ることが分かります。この用法をもつものは(C)managedのみで、意味も文脈に適合しています。

- manage to do 「なんとか~する」(= succeed in doing)

I managed to solve the problem. (= I succeeded in solving the problem.)

(なんとかその問題を解決した)

- succeed to A 「Aを相続する/Aのあとを継ぐ」

The new king succeeded to his father's throne.

(新しい王は父親の王位を継承した)